

日本舞踊家集団

邦楽囃子方集団

# 弧の会 × 若獅子会

2020.3月7日(土)  
16:00開演(15:30開場)  
オーバード・ホール

主催：(公財)富山市民文化事業団、富山市  
共催：北日本新聞社、チューリップテレビ、FMとやま  
後援：富山市教育委員会  
助成：芸術文化振興基金助成事業

好評発売中!

チケット(全席指定・税込)

一般 4,000円  
U-25 1,000円\*

※未就学児入場不可  
※U-25：高校生25歳以下対象。公演当日、鑑賞者ご本人  
が年齢のわかる身分証をご提示のうえ、ご入場ください。  
※車椅子席は、アスネットカウンターのみ取り扱います。  
電話または窓口までお問い合わせください。  
※公演中止の場合を除き、ご購入いただきましたチケットの  
キャンセル・変更は承れません。



チケット取扱

- アスネットカウンター(オーバード・ホール1階)  
TEL.076-445-5511 10:00~18:00  
月曜日定休(月曜日が祝日の場合、翌平日休み)
- アスネットオンラインチケット  
http://www.aubade.or.jp
- ローソンチケット(Lコード:53340)  
TEL.0570-084-005
- チケットぴあ (Pコード:498-809)  
TEL.0570-02-9999
- 富山大和

ワークショップ

はじめての日本舞踊  
参加児童募集!

日本舞踊界のオールスター「弧の会」から学び一緒に踊る晴れ舞台!  
着物に足袋に舞扇。日舞の楽しさと奥深さに触れる超貴重な2日間!

このワークショップでは、3月7日(土)オーバード・ホールでの「弧の会×若獅子会」公演にて、  
弧の会メンバーと一緒に日舞パフォーマンスを披露していただきます!

はじめての日本舞踊に挑戦し、舞台デビューしませんか? 出演終了後は、本公演を鑑賞していただけます。



講師：日本舞踊家集団 弧の会メンバー  
日時：令和2年3月6日(金)16:30~2時開演程度  
3月7日(土)13:00集合~公演終了まで  
場所：オーバード・ホール リハーサル室  
対象：小学1~6年生(日本舞踊未経験、初心者歓迎!)  
※保護者の許可を得てからお申し込みください。  
定員：20名 先着順(定員に達し次第、締め切ります)

受講料：無料 ※ご家族、保護者用として、本公演チケットを2枚まで  
半額(一般:2,000円、U-25:500円)でご購入いただけます。  
持ち物：白足袋、スリッパ(サンダル、草履など)汗拭き用タオルをご用意ください。  
申込方法：オーバード・ホールHP「弧の会×若獅子会」  
特集ページの応募フォームからお申し込みください。  
募集期間：1月6日(月)~受付開始



日本舞踊で、舞台デビュー!

KO NO KAI

# 弧の会



日本舞踊家集団

2020.3月7日(土)

16:00開演(15:30開場)  
オーバード・ホール



邦楽囃子方集団



賑やかに打ち囃す!

# 若獅子会

WAKAZISHIKAI

颯爽と舞い踊る!



# 伝統芸能の現在進行形

## 日本舞踊家集団 邦楽囃子方集団 弧の会 × 若獅子会

パワフルな群舞と、和のパーカッションによる「技」の競演、  
紋付き袴姿の男達が醸し出す「粋と艶」を存分に！

演目

富山県が誇る独自の五箇山文化は、平安時代末期に源平の合戦＝「倶利伽羅峠の戦い」で敗れた平家の落武者が、逃れて住み着いたことから始まるとされている。総大将・平維盛は大軍を率いて倶利伽羅山中に本陣を敷き、義仲の源氏軍を待ち構えていた。一方、義仲は味方の軍を七手に分けて好機を伺う。そして夜半、角に燃え盛る松明を付けた数百頭もの牛と共に背後から一気に平家の陣に突入。これが世に言う木曾義仲の「火牛の計」であり、この戦いを期に平家は一気に滅亡に向かう。この戦の模様を、現代的な手法と古典の手組を織り交せて囃子のみで表現。この楽曲に弧の会が伝統的な身体表現をベースに迫力とスピード感を加味してダイナミックに振付を施した。伝統芸能の旗手たちが今回の公演のために創作した作品。三面半舞台を持つオーバード・ホールならではの迫力ある演出にご期待ください。

囃子方人間国宝・堅田喜三久師による、数々の伝統的な手法を用いた構成曲。能管と篠笛で空を飛ぶ鷹の羽が風を切る音、風をはらんでいるさまを、小鼓は鷹の首や足の動き、大鼓で鋭く啼く音そのものを表現。古来より伝わる能楽囃子とその後生まれた歌舞伎囃子の手を自由に組み合わせ描く「鷹」の勇姿。一方、能楽を支える四拍子（小鼓・大鼓・太鼓・笛）を用いて「獅子」の力強い動きを表現。中国における想像上の聖獣・獅子が日本に伝わり、荒々しさ、力感、そして優美さが加味されて多くの人々に愛されてきた…そんな鷹と獅子の魅力、新たな囃子構成曲を通して味わっていただきます。

「弧の会」の代表作。長野県諏訪市に伝わる天下の奇祭「御柱祭」。男たちが跨った大木が坂を滑り落ちるシーンが有名だが、実はその大木を柱として神殿の四方に立て祀る祭礼。神への祈りと祭りに命を懸ける男たちの熱い姿を、2000年度に鼓童の楽曲を用いて舞踊化。御神木となる木を山中で選ぶ「見立て」に始まり、伐採に使う斧の「火入れ式」などの神聖な儀式から、祭に心浮き立つ男達の花笠踊りや長持道中、やがて御神木を運ぶ里曳きの様子へと続き、命懸けの「木落し」の様を見せる。日本舞踊の概念を覆す、圧倒的迫力の群舞をご覧ください。2000年度 舞踊批評家協会賞・新人賞受賞、2008年度 文化庁芸術祭賞・優秀賞受賞（舞踊部門）。

創作囃子曲  
かぎゅう  
「火牛」  
2020年3月7日  
オーバード・ホール初演

弧の会  
おんばしら  
「御柱祭」

若獅子会  
たかしし  
「鷹と獅子」

【弧の会】



特色の異なる数々の流派が存在する日本舞踊界において、「日本の踊りの素晴らしさを未来へ繋げよう」という熱い思いから、一線で活躍中の男性舞踊家たちが流派を超えて結集したユニット。1998年に結成以来、紋付・袴のみの「素踊り」を基本に、迫りに満ちた新作舞踊を次々と発表。中でも2000年初演「御柱祭」は、新作としては異例の50回を超える再演を全国各地で重ね大反響を呼んでいる。また若い世代に向けた普及活動も積極的に展開中。活動の方向性とそのクオリティは、各方面より高い評価を受け、いま最も熱い注目を浴びる日本舞踊家集団である。2000年度 舞踊批評家協会新人賞受賞、2008年度 文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。

日本舞踊のすばらしさを広く伝えるべく  
流派を超えて集まった男性日本舞踊家たち

弧の会 日本舞踊家集団

邦楽囃子の新しい形を発信するべく  
若手邦楽囃子方が流派を超えて集結

若獅子会 邦楽囃子方集団

同世代の邦楽囃子方が「伝承・普及・創造」を旨に、流派を超えて2006年に結成。同年、第一回 若獅子会公演を中央区立日本橋公会堂（日本橋劇場）にて開催以後ほぼ毎年自主公演を重ねる。創作囃子曲を収録したCDをリリース、日本舞踊家集団「弧の会」とコラボレーション、文化庁・文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演事業）をはじめとする学校での公演等、囃子方演奏家が主体となり邦楽囃子の新しい可能性を追求している。2016年、オリジナル楽曲「若獅子I」が、邦楽の伝統を踏まえた優秀な創作作品に贈られる「中島勝祐創作賞」を受賞。2018年、(公財)日本文化芸術財団より「創造する伝統賞」を受賞。

【若獅子会】



# 未来を見据えて、いざ富山へ！